

**留学先国名** : オーストラリア

**留学先学校名** : マッコーリー大学

**留学期間** : 平成 28 年 2 月 11 日 ~ 平成 28 年 7 月 16 日

5 か月の留学生生活を終えましたが、この期間に今まで経験したことがないたくさんの貴重な経験ができ、さらに自分を深く見つめなおすこともできました。留学によって語学力以外に自分の内面的にもとても成長できたと思います。私の人生で 1 番充実した日々となり、自分の留学に大満足で留学をして本当によかった、と心から思います。

まず留学する前の私は消極的で自分に自信がなく、何でも親に聞かないと自分で行動できませんでした。留学が始まったばかりの頃、学校で気の合う人が見つからず友達がいませんでした。毎日授業が終わった後は 1 人で、寂しくて泣いた日もありました。しかし、そこで何もしなかったら変わらないと思い、学校が新入生向けに催しているイベント、ネットで探して見つけたボランティアや教会で開かれている無料の英語教室などに 1 人で参加し、語学学校以外の場所で仲のいい友達を増やすことができました。ボランティアは東北大震災の募金を集めるイベントのお手伝いやオーストラリアで日本語を勉強している高校生に日本語を教えたり、国立公園の雑草刈り、日本語学校で幼稚園クラスの補助をしたりしました。日本ではボランティアに参加したことがなかったのですが、子どもたちはかわいくて人に教える楽しさに気付けたし、茂った森林で活動し自然を身近に触れ合う初めての経験ができました。そこで、例えば日本語を一生懸命勉強して日本語が驚くほど上手な高校生を見て「私も彼らのようにもっと勉強して英語を話せるようになりたい」と刺激を受けだし、ワーホリでシドニーに来ている日本人がとても幸せそうで、「就職してから辞めて海外に行くなんてリスクが高いから考えられなかったけど、人生型にとらわれずやりたいことをすることも素敵だな」と思うことや、出会った人から学ぶことがたくさんありました。今まで知らないところに 1 人で行くことは苦手だったのですが、行動すればいろんな人と出会えて学べることもあるし、すべてがいい経験となるので何でも挑戦することは大事だと実感しました。それと私はインターンシップとアルバイトもしました。始める前私はそんなに語学力もないし無理じゃないかな、と心配だったのですが、履歴書や面接を受けて採用され働くことができました。たいしたことはしていませんが、それでもオーストラリアで働けたことで「自分もやればできる」と自信がつかました。オーストラリアの職場も垣間見て日本との違いも見ることができました。そして今まで将来の仕事について考えたことはなかったのですが、自分の性格や将来したい仕事について考えるきっかけにもなりました。

語学学校では最初は教科書を使って文法を習うことが多かったです。クラスが上がるとペアでプレゼンテーションをしたり、エッセイを書く練習をしました。youtube の曲を使って歌詞を聞き取ったり、グループで寸劇をするなどユニークなものもありました。特にエッセイの書き方は、卒論を英語で書く私にとってはとても勉強になりました。

それから、留學生活で一番よかったことはホストファミリーに出会えたことです。ホストファミリーにはたくさんのお話を教えてもらいました。ファザーは自然が大好きで、庭にある植物やオーストラリアの動物について教えてくれました。私は大学の専攻が自然でそのこともあってオーストラリアを選んだのでとても勉強になりました。ニュースを見ながらオーストラリアの政治や私の知らない日本の歴史を説明してくれたり、インターンシップの面接の前日には一緒に練習をしてアドバイスをくれたりしました。私が朝出ていくのが早い時もマザーは、毎朝起きて朝ごはんの用意をしてくれて、夜帰るのが遅くなった日には駅まで車で迎えに来てくれるなど本当に親切にしてくれました。私はネガティブで心配性なのですが、マザーはとてもポジティブで何でも「大丈夫、明日にはよくなるよ」と明るく励ましてくれました。2人のおかげでオーストラリアでは、楽しく充実した生活を送れたといっても過言ではありません。他人なのにわが子のように尽くしてもらって本当に幸せでした。それに見合っているわけではないけど私も積極的に家の手伝いをしたりプレゼントをしたりして感謝の気持ちを伝えていました。2人から人に親切にすることを学びました。そして、普段感謝の気持ちを伝えることはあまりなかったのですが、ちゃんと感謝する習慣が身につきました。

今後の目標としては、まず留學で伸びた語学力を保てるように英語の勉強を続けていきます。そして海外に日本の製品を売ったり、日本に来た外国人におもてなしするような日本と海外をつなげる仕事に就きたいです。また、留學で培った挑戦心で何でも前向きにやりたいことに挑戦していきます。それから日々みんなに感謝の気持ちを示すことを忘れずに、ホストファミリーのように誰にでも親切にできる人になりたいです。

これから留學する人に言いたいことは、まず留學する前に自分の達成したい目標ややりたいことを考えていくこと。そうすれば時間を無駄にすることなく、そのことを達成するための行動がとれるはず。そして何でも行動に移すこと。留學する前の私はあれしたい、これしたい、と口だけで実際にはしませんでした。しかし、留學して思ったことは「時間は限られている」ということです。悩んでいる暇があったらとりあえずやってみるべきです。勇気はいりますが何でもいい経験になるし、「やらずに後悔よりもやって後悔」の方が絶対にいいと思います。